

編集後記

今年度の文学会は、新たな会員を迎えてスタートした。そして、例年
にない早さの梅雨明けから夏本番に突入した今、文学論叢第一四八輯
を刊行することができた。

本号から、新たに愛知大学リポジトリへ論文掲載を行うこと、すな
わち電子化して公開をすることが五月の評議員会で承認された。今
後、文学論叢に掲載される論考については原則としてインターネット
上で公開が行われることになる。会員諸氏の論考が、これまで以上
に
ス界において広く活用されることを願いたい。

それと同時に、ページを繰る感覚もまた個人的には捨てがたい。ま
た、史資料がインターネット上で公開されていても、プリントアウト
して読まないとうとうしても落ちつかない。数年前、ある医学系の研究
者から、論文（そのときは「ペーパー」と呼んでいた）はすべてPDF
で読み、PDF上で書きこみをする時代になった、と言われたことが
ある。読みおわったものが場所を取らないでしよう、と。とはいえ、
文学会の研究領域では電子媒体と紙媒体が併存していく状況がしばら
くは続くのではないだろうか。

研究所への展開も含めた文学会の組織再編は、今年度も継続して課
題となっている。文学会が一層その存在意義を示しつつ、種々の事業
を展開していくことを期待したい。

(K)

平成二十五年七月二十四日 印刷
平成二十五年七月三十一日 発行

編者 愛知 大 學 文 學 會

代表者 伊 東 利 勝

印刷所 豊橋市東森岡
株式会社 三 愛 企 画

発行所 豊橋市町畑町
愛 知 大 學 文 學 會

振込〇八九店 当座一〇〇四五六五四